

朝比奈みくる

「涼宮ハルヒの憂鬱」に登場するキャラクター。
北高に通う女子高生にして、ドジっ娘天然巨乳メイドさん。お茶を汲むのが得意。CVは後藤邑子。

[キョン](#)、[涼宮ハルヒ](#)、[長門有希](#)と共に「SOS団」を結成している。
しかし実際は半ばハルヒに拉致される形で加入させられている。曰く「萌えが必要」だったから。
おかげで彼女に日々バニーガールスーツやメイド服などのコスプレを強要されている。
もっとも、本人もまんざらでもない。

[キョン](#)らとは先輩後輩の関係に当たるが、幼い顔立ちと仕草から、どちらが年上なのか分からないような描写も多々見られている。
[鶴屋さん](#)とは同級生の友達で、[朝倉涼子](#)とはアニメにおいて絡みなし。

【能力】

実は[キョン](#)らの住む時間軸から相当先からタイムワープしてきた未来人である。
(蛇足だが、名前の「みくる」も「未来」から取られたと考えられる)
その設定は関連人物では[涼宮ハルヒ](#)のみ知らされていない。

目的は[涼宮ハルヒ](#)及び恐らく[キョン](#)の監視とされ、実はSOS団への加入も計算ずく。
また未来を変える可能性のあるものは全て「禁則事項」としてその情報を漏らさないのが特徴。

しかし未来人だからといって、[ドラえもん](#)のように秘密道具を持つわけでもなく
未来にワープするような能力も一切描写されていない。
機械などに精通する描写も見当たらないので、その能力は一介の女子高生に過ぎないと考えられる。
それでも未来に関する知識はそれなりにあるようで、[ドラえもん](#)との絡みが期待される。

【関連人物への一人称】

一人称 「わたし」
二人称基本 「あなた」
[キョン](#) キョンくん
[涼宮ハルヒ](#) 涼宮さん
[長門有希](#) 長門さん
[鶴屋さん](#) 鶴屋さん
[朝倉涼子](#) 不明

【本編での動向】

石ころ帽子を被って慎重に移動しているところを、[カルラ](#)に襲われ、彼女をマörder認定してしまう。
だが実は誤解で[カルラ](#)からはみくるは石ころにしか見えていなかった。
その後、錯乱していたところを[バトー](#)に保護される。ただ、石ころ帽子以外の支給品は亡くしてしまう。
現在はバトーとともにホテル手前の駅前の喫茶店にて待機中。いわく「SOS団の集合場所と似ているから」。
喫茶店でもせわしなくメイド姿で動き回るあたり、お茶汲みはもはや職業病らしい。
放送で鶴屋さんの死を知って動揺していたところ、ホテルでロベルタと遭遇、戦闘になる。
銃雨に晒されたり、人質にされたりするが、セラスの働きにより一命を取り留める。
銃を使ってロベルタを狙撃するなど、一応頑張りも見せている。
戦闘の結果、バトーとロベルタが死亡。セラスが重傷を負う。
傷ついたセラスを看病するが、今度は[キャスカ](#)が襲来。嗚呼、呪いのホテル。

ホテル最上階に隠れているようセラスに言われるが、仲間を失いたくない一心で外に飛び出す。運悪くキャスカと鉢合わせになったみくるは銃で応戦するも、実力敵わず切り捨てられてしまう。死の淵にあったみくるだったが、同じく死亡寸前であったセラスを助けるため、彼女に自らの血を提供。吸血鬼になるかと思われたが、運命とは残酷なもので、血を吸われた時点では既に生命力が底を尽きていた。永遠に覚めない夢の中で残したみんなへのメッセージは、多くの涙を誘った……。

支給品は石ころ帽子、庭師の如雨露、エルルウの薬箱（危険物限定）。

名前:

コメント:

投稿